■2026 年度第 3 回材料研究会・応用物理学会超伝導分科会第 74 回研究会（公開）

1986 年の高温超伝導の発見から，2026 年で 40 周年を迎えます。その後，多彩な高温超伝導物質が次々と見いだされ，研究は大きく発展してきました。その歩みは，新物質の探索にとどまらず，高温超伝導の発現機構やその背後にある物理の理解を大きく深化させてきました。さらに，線材，デバイス，高磁場マグネットなど，応用技術も着実な進展を遂げています。本研究会では，物質，物理，応用という幅広い視点から，高温超伝導研究の 40 年の歩みと現在地を振り返ります。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

○テーマ：高温超伝導発見 40 周年記念研究会
○共同開催：材料研究会・応用物理学会超伝導分科会
○日　時：2026 年 11 月 13 日（金）13:00~17:00
○会　場：日本大学理工学部駿河台キャンパスタワースコラ S504 室
〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台 1-8-14
(アクセス) https://www.cst.nihon-u.ac.jp/campus/surugadai/

○プログラム
13:00〜13:05　開会挨拶：超伝導分科会幹事長 斉藤志郎 (NTT)
13:05〜13:35　永崎 洋 (産総研)：高温超伝導の原点を振り返る - $(La,Sr)_2CuO_4$ から見た 40 年
13:35〜14:05　下山 淳一 (青山学院大)：多彩な高温超伝導体の顔ぶれとそれらの歩み
14:05〜14:35　田仲 由喜夫 (名古屋大)：非従来型超伝導体接合の物理
14:35〜15:05　前田 京剛 (東京大)：高温超伝導ボルテックスの運動学の謎
15:05〜15:20　休憩
15:20〜15:50　飯島 康裕 (フジクラ)：異方的弱結合を乗り越えた 2 軸配向超伝導線材
15:50〜16:20　田邊 圭一 (SUSTEC)：高温超電導接合と SQUID; 物理からビジネスへ
16:20〜16:50　淡路 智 (東北大)：発見から 40 年　高温超伝導応用はどこまで進んだか–強磁場応用を中心として
16:50〜16:55　閉会挨拶：材料研究会委員長 土井 俊哉 (京都大)

○申込先：(1)所属，(2)氏名，(3)連絡先(TEL, E-mail)，(4)会員種別を明記の上，11 月 9 日（月）までに下記 URL
https://annex.jsap.or.jp/support/division/super/
からお申し込みください。
○参加費 (資料代)：3,000 円
○支払い方法：イベントペイ
https://eventpay.jp/event_info?shop_code=4273351170551200&EventCode=C261037288
○オーガナイザー
材料研究会：土井 俊哉 (京大)，藤田 真司 (フジクラ)，飯田 和昌 (日大)
超伝導分科会：土井 俊哉 (京大)，藤井 剛 (産総研)，飯田 和昌 (日大)
○問合せ先：日大・飯田 和昌
Email：iida.kazumasa@nihon-u.ac.jp, Tel：047-474-2367